

9/1 (土) 18:00 kick off @ 岐阜メモリアルセンター長良川競技場

2018 J2 順位表 第30節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績 (岐阜から見て)

(*は 1, #は 2, 消化試合が少ない)

* 1	町田	56p	+15	49	34	H●	A●
2	松本	56p	+14	43	29	HO	
* 3	横浜FC	52p	+12	45	33	H●	A●
4	大分	51p	+14	50	36	A●	H●
# 5	福岡	49p	+13	40	27	A●	
6	東京V	49p	+11	42	31	AΔ	
7	大宮	48p	+13	51	38	AO	
8	徳島	44p	+7	36	29	HΔ	
9	岡山	44p	+3	31	28	AΔ	
* 10	山口	44p	+1	51	50	HΔ	
11	水戸	42p	+3	35	32	HO	
* 12	山形	41p	-1	35	36	A●	
13	栃木	41p	-3	30	33	HΔ	A●
14	金沢	39p	+1	38	37	H●	
15	甲府	38p	+8	46	38	H●	AO
16	千葉	35p	-8	51	59	AO	
17	愛媛	34p	-14	25	39	AO	H●
18	岐阜	32p	-8	36	44	---	---
19	新潟	29p	-18	30	48	HO	
* 20	京都	26p	-16	26	42	A●	H●
21	熊本	26p	-19	37	56	AO	H●
* 22	讃岐	24p	-28	23	51	AO	H●

次回HomeGame

第34節 vs. 東京ヴェルディ

9/23 (日) 14:00

@ 岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/

湯麺 戸塚

店主: 戸塚 哲也

瑞穂市穂積 1596-4

11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)

お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka

☆☆☆各務原店もよろしく!! ☆☆☆

today's guest : 大宮アルディージャ

2017 J1 5勝10分19敗 勝ち点25:18位

直近の対決と結果

2018/05/19
J2-15節@NACK
大宮 0-2 岐阜
古橋亨梧, 竹田忠嗣 scored.

ここ3試合の公式戦の結果

	FC岐阜	大宮アルディージャ
2018/08/26 J2-30節@町田	町田 1-0 岐阜	2018/08/26 J2-30節@NACK 大宮 4-4 山口
2018/08/19 J2-29節@長良川	岐阜 0-2 熊本	2018/08/18 J2-29節@NACK 大宮 2-1 新潟
2018/08/11 J2-28節@長良川	岐阜 2-3 京都	2018/08/12 J2-28節@ニンスタ 愛媛 1-5 大宮

●この暗くて長いトンネルは、いつまで続くのか...8/19 (日) 第 29 節・ホームに 21 位・熊本を迎えた FC 岐阜。両チームとも浮上の切っ掛けを掴みたい試合は、岐阜が試合の主導権を握って進むが、しかし決定機の精度を欠き、ゴールを奪えない。すると後半、岐阜は先制点を奪われると、熊本にペースを奪われ、その後 10 分経たないうちに再び守備を崩され、2 失点目を許してしまう。結局、ホーム戦にも関わらず一矢報いることもできずに 0-2 で敗戦、これで FC 岐阜は 6 連敗・ホーム 5 連敗。続くアウェイ戦・8/26 (日) 第 30 節は、2 位・町田を相手に奮戦したが、0-1 で敗戦。クラブ記録ワーストタイとなる 7 連敗を喫してしまった。

この 2 試合の敗戦で愛媛にも順位を抜かれ、さらに順位を 1 つ下げて 18 位になってしまった FC 岐阜。19 位 (暫定)・新潟とは勝ち点差 3 の距離を維持しているものの、J3 降格圏である 21 位・熊本に敗れたため、その勝ち点差は 6 にまで縮まってしまった。そして 9 位 (暫定)・岡山との勝ち点差は 12 に拡がり、プレーオフ圏内である 6 位・東京 V までは勝ち点差 17。直近の 2 試合は、平均失点が 1.5 点と失点を抑えることには成功しているが、一方で 2 試合連続無得点で、攻撃の推進力も落ちてしまっており、その攻守のバランスは悪いままだ。そして 30 試合を消化して、FC 岐阜が積み上げた現在の勝ち点は 32。J2 が 22 チーム制になってから、概して "J2 残留ライン" は 40 前後、つまり 1 試合で勝ち点 1 を積み上げれば、例年だいたい J2 残留というのが、これまでの傾向から導きだされる一般的な考え方だ。今シーズンの FC 岐阜は、シーズン前半戦・21 節終了を勝ち点 29 で折り返したが、後半戦を現在 7 連敗・1 勝 8 敗という戦績のため、"貯金" が徐々に減ってしまった。"J2 残留ライン" には、あと勝ち点 10 不足している。そして今シーズンは残り 12 試合。「まだ残り 12 試合」「もう残り 12 試合」……。考え方は人それぞれだろうが、残り 12 試合を死にものぐるいに戦って勝ち点を積み上げていく気概と覚悟が、チーム・フロント、そして僕らサポーターにも求められている。そういう時期に差し掛かってきていると言わざるを得ない。

さて、今節の対戦相手は大宮アルディージャだ。15 年に 1 年での J1 復帰を果たし、翌 16 年には J1 で 5 位の成績を挙げたものの、昨年最下位に沈み、再び J2 に降格。今季再び 1 年での J1 復帰を目指しているチームだ。シーズン序盤は下位に沈んでいたが、徐々に調子は上向きとなり、直近 5 試合では 3 勝 1 分 1 敗で、現在は 7 位。プレーオフ圏内はもちろん、J2 優勝争いにも踏み留まっているため、チームのモチベーションは非常に高いだろう。

大宮との通算対戦成績は、岐阜の 1 勝 2 敗・2 得点 10 失点。今季の前対戦である、5/19 (土) 第 15 節・アウェイ戦では、#11 古橋亨梧と #3 竹田忠嗣のゴールで 2-0 と快勝し、4 連勝の切っ掛けとなった。チーム状況は苦しいが、この試合に何としても勝利して、チーム浮上の切っ掛けにしてもらいたい。

大宮で最も注意しなくてはならない選手は、やはり現在 19 得点・J2 得点ランキング 1 位の #10 大前元紀だろう。直近 5 試合でも 4 ゴールと好調を維持しており、彼を自由にさせないことが、岐阜の勝利には必須条件だ。続く 9 ゴールの #16 マテウスや、2 試合連続ゴール中の #8 茨田陽生にも注意が必要だ。

プレーオフ圏内を狙う大宮が相手だけに、今節も厳しい試合展開が想定される FC 岐阜。しかし、この苦しい状況を打開するためにも、僕らサポーターの力が求められているはずだ。僕らの拍手と声援で、選手たちを鼓舞し、その背中を押し続けよう。ホームスタジアムの熱意を、僕らの気持ちを力に変えて、必ずや選手たちは結果を、勝ち点 3 を掴み取ってくれるはずだ。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。『チヂミ屋』は JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。休:月曜日

投稿募集 !!

gidaidohri@gmail.com

【第29節】岐阜0-2熊本

●“酷暑”と表現するのに相応しい暑さはいくぶん和らいだものの、まだまだ猛暑の続く岐阜県。そしてここ数年、夏場になるとチームが急激に順位を落としていくのが恒例行事になっているように思えるんですが（苦笑）、こうなるともう、やはりチームの最大の敵は「岐阜の暑さ」そしてリカバリー設備&スタッフの不足なのではなからうかと、つつい考えてしまうのは僕だけなのでしょうが…嗚呼、真夏の“長良川劇場”は何処に去りにけり（溜息）。

さて、個人的に注目(?)してた3トップは、右から#9山岸、#14風間、#19藪内…うーん、4連勝した際の3人が、個人的には3トップのベストメンバーだと思えるし、#10ライザが負傷欠場(?)のため、前線でボールがなかなか収まらずに奪われている現状を考えると、#9山岸を真ん中にして試してみる方が、僕は良いような気がしているんだけど…

試合序盤は、岐阜のペース。そして(比較的)いつもよりは積極的にシュートを撃つ姿勢が各選手に見られるのだけれど、うーん…疲労が蓄積しているからなのか、それとも6連敗して勝利への重圧からなのか、シュートが粹に飛ばなかったり、力強さに欠けていたり。一方の熊本は、岐阜のDF陣が後方でビルドアップを始める前から激しくボールを奪いに行き、岐阜の選手のミス誘ってショートカウンターに繋げる、つまり“FC岐阜対策マニュアル”を忠実に実行し、徐々にそれが功を奏し始める。現在、ほぼすべての対戦相手が、そうやって前線からボールを奪いに来るのが分かっているのだから、もっとシンプルにボールを前に運ばなければ、守備の選手に負担がかかってしまい、それがミスや失点に繋がるのでは…という不安を、この試合も僕は感じざるを得なかった。そして、徐々に疲労が溜まっていくと、やはりこの試合もパスミスからボールを奪われる機会が増え、シュートへの積極性も薄れていく。対する熊本は、貪欲にシュートを狙い、カウンターを仕掛けてくる。そして、それが後半に結実する。右サイドをえぐって、PA内にクロス。岐阜も選手の人数は揃っていたのに、飛び込んできた熊本の選手をフリーにしてしまい、先制点を奪われてしまう。そして2失点目は、左サイドから。普段は右サイドを上下動している熊本の(岐阜にも在籍していた)#14田中達也が、この試合は左サイドに張っているから最初は不思議に感じていたのだけれど、何度も#2阿部正紀との勝負を繰り返して体力を削り続けた結果、完全に裏を抜け出してゴール逆サイドにボールを叩き込まれてしまった。「タナタツも、上手くなったねえ…」と強がってみせるぐらいしか、僕にはできなかった。

結局、ホームスタジアムでゴールを奪うこともできないまま、0-2で敗戦。これで6連敗。しかも、岐阜より下位のチームと対戦したのが5試合。リーグ戦で順位を上げるためには、「下位チームとの対戦を取りこぼさない」とはよく言われることだけれど、ここまで負けると“取りこぼす”っていうレベルじゃないですよ…(溜息)。すっかり、今シーズンのJ2残留争いを面白くしてしまった挙げ句、自分も飛び込みに行ったような感が、僕にはあります。

正直、もう楽観はできない。第2ウインドー(移籍期間)も閉まり、例外での選手獲得の可能性を除けば、現有戦力で残りの試合を戦うことになる。補強が足りているのか、今は分からない。けれど、悲観していても仕方がない、と僕は思う。最後まで諦めず、粘り強く戦う姿勢を貫いた者こそが、最後に笑うと信じて(そして、そうやってきた過去の実績を糧に)、今日も最後までポジティブに選手たちを応援したいと思います。

(ささたく)

●愛媛、讃岐、栃木、そして京都。下位のクラブ相手に結果が出せず、喘ぎ続けている現状。たとえ一試合でも勝てれば、あるいは一点でも多く勝ち点を重ねてさえいけば何も問題はなかったのに、どうしてこうもシビアな状況に自らを

追い込んでしまうのだろうか。そういう性分なのか、体質なのか。そんなことはないと思いたいが、こういう時に限って下位のクラブとばかり当たってしまう。

そんな熊本戦だったが、厳しいのは相手も同じ、いや、それ以上だったのかもしれない。本紙の熊本戦号を読むまで知らなかったが、熊本はこの試合まで13戦未勝利。勝利への渴望は、選手はもちろん、予想以上の大人数だった熊本サポに上回られてしまったのだろうか。ホームの雰囲気、勝つための後押しが足りなかったのかもしれない。

試合の入りは悪くはなかった。先制点が欲しかったが、前半0-0なら問題なかったはず。なのに、先制は熊本。そして、致命的な2失点目。チャンスはあった。だが、決めきれなかった。たしかに、好調な頃とは最前線が違う。キョーゴは別として、ライザもパウロもいない。そういうエクスキューズはあるかもしれない。だが、交替の順番はあれでよかったのか。大地も透馬も期待感の持てる有望な選手だと思う。それでも、24番に与える時間はあれでよかったのかと聞かれたら……。長良川の、スタジアムの雰囲気を変える、アゲるための最善手はナンちゃんではないのかな?その点に限っては疑問が残る。残るが結果が出てしまった後ではどうしようもない。厳しい注文だが、ナンちゃんには「あの時間でも3点決めてくれっ!」と言うしかない。ハットトリックやるのに、そんなに時間いらんやろ?記録持つてるよね?あんまり思い出したくない部分もあるけれど(苦笑)。

とにかく、今いる選手でやりきるしかない。そのための後押しを自分もやりきる。トモニタカウ!それだけだ。(ぐん)

●試合前の岐阜と熊本の勝ち点差は9。でも、これは対戦における両者の『強さ』の指標ではなく、「貯金額」に過ぎない。「これまでいくら稼いだか」であって「いまいくら稼げるか」ではない。熊本の現状に理由があるように、岐阜の現状にも理由がある。そして、その現状を俯瞰で眺めれば勝ち点3の行方は拮抗している。と、試合前は思っていた。まあ、実際は違ったのだが。

この試合の岐阜は、いろいろと仕掛けてきた。出場停止の竹田の代役はここ最近の数試合でスタメン経験のある北谷ではなく、ヘンリーだった。サブに初めてハムを入れてきた。変化の仕掛けは、試合中にも。いつもはベンチに腰掛けて戦況を見つめる大木監督が、試合開始からずっとテクニカル・エリアに出ていた。

変わろうとしていた、のだろう。でも、変われなかった。1年半もの時間と手間をかけて積み重ねて来たやり方だ。ただか1勝1分10敗ごときではどうこうすることもないし、出来ないだろう。だから、熊本はレシピどおりに岐阜を料理した。料理できた。持たせて、まわさせて、岐阜の選手の動きが鈍くなるのを待ったところでカウンター。すぐに食べるには厄介な肉でも、攻略法の漬け汁に沈めて1時間ばかり寝かせれば大丈夫。あとは普通に焼けば出来上がり。これが、J2の対戦相手に知られた「岐阜のレシピ」。勝ち点の行方は拮抗などしていなかったというわけだ。

古橋やパウロやライザといった「骨のある選手」がいない現状では、相手は食べやすいだろう。他の選手にしっかり「骨」になってもらって、そう簡単には食べられないようになってもらわないと。

(吉田鑄造)

【第30節】町田1-0岐阜

●町田のゴール裏から、とても大きなオレンジ色の満月が上ってきて、しばし見とれた。その傍らには火星。これほどの接近、月と火星のランデブーは17年先じゃないと見られないらしい。とはいえ、どれだけ接近しようが繋がるわけじゃない。この試合もウチの攻撃はゴールに繋がらなかった。2試合連続のシャットアウト負け。熊本戦よりは惜しいチャンスもあつ

た。そんな気がする。(DAZNの見逃し配信は、未だに見ていない。)さらに、PKも含め、守護神は少なくとも2点は防いでくれた。なのに、決勝点はほとんどオウンゴールのような形で決まってしまう。しかも、それがシュートですらないミスパスのようなキックだったのが、なんともかんとも……。とはいえ、その発端はまたしても相手へのプレゼント・パス。そんな積み重ねが7連敗という現状を呼び込んでいるのは否めない。どこかで、こういう負の連鎖を断ちきらなくては。それでも、大地が90分闘えることがわかった。雰囲気はある。その瞬間が待ち遠しい。

この日の野津田は暑かった。8月だから仕方がないとは思いますが、7月の三ツ沢の100倍暑かったような気がする。町田の選手が試合中に給水を取るシーンの多かったこと。ボールに触れる時間より、ボトルに触れている時間の方が長かったような気がする。それも、前半の早い時間に先制した余裕だったんだろうか。暑さのせいもあってか、いつものようなガツガツしたラフ気味なチェックもなかった。こんなに優しい町田は記憶にない。ラインも高く設定されていたように思うが、前半はその空いているスペース、裏を狙うことも少なかったように見えた。後半はずいぶん意識を持って、積極的に裏を狙っていたように見えたが、残念ながら得点だけがついてこなかった。もう少し、あとホンの少しのトラップとか。何かが足りない。

ただ、そこはやってもらうしかない。それが出来るのはピッチに立った者だけだ。自分は、闘う選手達を鼓舞することしかできない。トモニタカウ。イツモトモニル。そんな気持ちで、今日もピッチに送り込む。それだけだ。(ぐん)

●8月26日(日)に行われたアウェイ町田戦に参戦してきました。野津田は初めてでしたが、シャトルバスもスタジアムの直ぐ横の駐車場に着けてくれたし、(キックオフ直前に到着したので利用はしませんが)屋台村も盛況のようで良い雰囲気でした。

試合については、失点シーンはDFラインでのパス回し中のミス拾われてショートカウンターを食らっての失点。もう何十回も見たリプレイをもう一度見させられたような脱力感。ただその後は踏ん張って失点を許さず、後半途中からは試合のペースを握れたのは良かったかな?と。とは言っても何回惜しいチャンスを演出しても得点を入れなければ同点も逆転も出来なかったのだから、そこはとてもモドカシかった。でも翌日にDAZNの見逃し配信を見てみたら選手たちは頑張っていたと思います。

首位争いをしているチームに0対1で惜敗したと考えるか。7試合連続の敗戦に打ちひしがれるのか。正直オイラの中にも色んな考えが入り混じっています。でも、もう夏の移籍ウインドーは閉まっているので、今の選手たちで戦うのは決まっている事。だったら残留に向けて選手たちの背中を押せるようにしていきたい物です。

残り12試合、応援して行きますよ!!
(ヤックル)

【ユース】東海プリンス、再開

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下FC岐阜ユース)は今年東海プリンスリーグに参戦しています。夏の中断期間に入っていました。先週末からリーグ戦が再開されました。再開後最初の対戦相手はJFAアカデミー福島U-18(以下アカデミー福島)。今年は既にリーグ開幕戦とクラブユース選手権予選で対戦していますが、それぞれ0対2、0対3と完封負けしています。

8月25日(土)に長良川球技メドウにて行われた試合は地力に勝るアカデミー福島のペースで進んでいたそうですが、なんとか0対0で前半終了。ただ後半48分に先制点を許すと追加点も決められ、結局0対3と今回も完封負けとなりました。

残念無念。そして今日9月1日(土)には清水で第11節静岡学園高校戦があった筈ですが、結果はどうだったのでしょうか?この後の試合予定は9月8日(土)に中京大中京高校戦、15日(土)に藤枝東高校戦、22日(土)に帝京大可児高校戦が予定されています。残留に向けて一戦一戦がとても大事です。悔いの残らない様に頑張ってください。

頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!

※試合会場・時間は変更される場合があります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。
(シュナ)

8/30時点のJ3順位表。

●皆さん、2年ぶりのご無沙汰です。『岐大通』に秋の訪れを告げる(苦笑)「J3順位表」の時期がやってまいりました。

1	琉球	38p	+18	40	22	残り11	★2018ライセンス
2	鹿児島	34p	+10	28	18	残り11	★2018ライセンス
3	沼津	33p	+10	21	11	残り12	
4	G大阪U	29p	+9	34	25	残り11	
5	鳥取	28p	+9	26	15	残り11	★2018ライセンス
6	福島	40p	+1	22	21	残り11	

J3からJ2への昇格は「上位2チーム」で「2019のJ2ライセンス所持クラブ」が条件です。G大阪、C大阪、FC東京のU-23チームは昇格対象になりません。2位以内に入った「J2ライセンス所持クラブのチーム(U-23を除く)」の数だけ、J2からJ3への自動降格となります。来年度のクラブライセンスは、通例ですと9月末に発表になります。

『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人:吉田鑄造)

